

Q0001

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント1：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

次の説明に最も合う用語はどれか。一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

- A. 消費者物価指数
- B. 最終利回り
- C. ROE
- D. GDP

答え・解説

Q0001 正答：D. GDP

解説：GDPは、一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント2：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

GDPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- B. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- C. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

答え・解説

Q0002 正答：A. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

解説：GDPの要点は「一定期間に国内で生み出された付加価値の合計」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント3：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「GDP」である。

- A. 消費者物価指数：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- B. GDP：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- C. 最終利回り：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- D. ROE：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

答え・解説

Q0003 正答：B. GDP：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

解説：正しい組合せは「GDP：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

Q0004

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント4：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

「GDP」は、一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。GDPは一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント5：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

組織が「一定期間に国内で生み出された付加価値の合計」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 消費者物価指数
- B. 最終利回り
- C. ROE
- D. GDP

答え・解説

Q0005 正答：D. GDP

解説：この目的に対応するのはGDPである。一定期間に国内で生み出された付加価値の合計という機能・考え方を持つためである。

Q0006

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント6：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

「GDP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- B. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- C. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- D. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

答え・解説

Q0006 正答：A. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

解説：GDPは一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント7：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

「GDP」は、家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は消費者物価指数の説明である。GDPは一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。

Q0008

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント8：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

次の状況で中心となる論点はどれか。「一定期間に国内で生み出された付加価値の合計」ことが求められている。

- A. 最終利回り
- B. ROE
- C. GDP
- D. 消費者物価指数

答え・解説

Q0008 正答：C. GDP

解説：中心となる論点はGDPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント9：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

GDPは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0009 正答：×

解説：誤り。GDPは一定期間に国内で生み出された付加価値の合計という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0010

金融資産運用

タグ：GDP

用語：GDPの確認ポイント10：一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

GDPと他の類似概念を区別する際は、「一定期間に国内で生み出された付加価値の合計」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0010 正答：○

解説：正しい。GDPの定義は一定期間に国内で生み出された付加価値の合計であり、類似概念との区別に使える。

Q0011

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント1：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

次の説明に最も合う用語はどれか。家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

- A. 消費者物価指数
- B. 債券価格と市場金利
- C. デュレーション
- D. 投資信託

答え・解説

Q0011 正答：A. 消費者物価指数

解説：消費者物価指数は、家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0012

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント2：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

消費者物価指数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- B. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- C. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- D. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

答え・解説

Q0012 正答：B. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

解説：消費者物価指数の要点は「家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0013

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント3：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「消費者物価指数」である。

- A. 債券価格と市場金利：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- B. デュレーション：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- C. 消費者物価指数：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- D. 投資信託：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

答え・解説

Q0013 正答：C. 消費者物価指数：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

解説：正しい組合せは「消費者物価指数：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0014

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント4：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

「消費者物価指数」は、家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0014 正答：○

解説：正しい。消費者物価指数は家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0015

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント5：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

組織が「家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 消費者物価指数
- B. 債券価格と市場金利
- C. デュレーション
- D. 投資信託

答え・解説

Q0015 正答：A. 消費者物価指数

解説：この目的に対応するのは消費者物価指数である。家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数という機能・考え方を持つためである。

Q0016

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント6：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

「消費者物価指数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- B. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- C. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- D. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

答え・解説

Q0016 正答：B. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

解説：消費者物価指数は家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0017

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント7：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

「消費者物価指数」は、一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0017 正答：×

解説：誤り。記述は債券価格と市場金利の説明である。消費者物価指数は家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数。

Q0018

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント8：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

次の状況で中心となる論点はどれか。「家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数」ことが求められている。

- A. デュレーション
- B. 投資信託
- C. 債券価格と市場金利
- D. 消費者物価指数

答え・解説

Q0018 正答：D. 消費者物価指数

解説：中心となる論点は消費者物価指数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0019

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント9：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

消費者物価指数を選定するときは、「家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0019 正答：○

解説：正しい。消費者物価指数の選定・運用では、家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数という目的との適合を確認する。

Q0020

金融資産運用

タグ：消費者物価指数

用語：消費者物価指数の確認ポイント10：家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

消費者物価指数は、家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数という説明とは無関係である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0020 正答：×

解説：誤り。消費者物価指数はまさに家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数という意味を持つ。

Q0021

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント1：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

次の説明に最も合う用語はどれか。一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

- A. 最終利回り
- B. 債券価格と市場金利
- C. PER
- D. ETF

答え・解説

Q0021 正答：B. 債券価格と市場金利

解説：債券価格と市場金利は、一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0022

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント2：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

債券価格と市場金利の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- D. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

答え・解説

Q0022 正答：C. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

解説：債券価格と市場金利の要点は「一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0023

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント3：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「債券価格と市場金利」である。

- A. 最終利回り：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- B. PER：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- C. ETF：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- D. 債券価格と市場金利：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

答え・解説

Q0023 正答：D. 債券価格と市場金利：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

解説：正しい組合せは「債券価格と市場金利：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0024

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント4：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

「債券価格と市場金利」は、一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0024 正答：○

解説：正しい。債券価格と市場金利は一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0025

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント5：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

組織が「一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 最終利回り
- B. 債券価格と市場金利
- C. PER
- D. ETF

答え・解説

Q0025 正答：B. 債券価格と市場金利

解説：この目的に対応するのは債券価格と市場金利である。一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係という機能・考え方を持つためである。

Q0026

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント6：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

「債券価格と市場金利」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- D. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

答え・解説

Q0026 正答：C. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

解説：債券価格と市場金利は一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0027

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント7：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

「債券価格と市場金利」は、債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0027 正答：×

解説：誤り。記述は最終利回りの説明である。債券価格と市場金利は一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係。

Q0028

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント8：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

次の状況で中心となる論点はどれか。「一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係」ことが求められている。

- A. 債券価格と市場金利
- B. PER
- C. ETF
- D. 最終利回り

答え・解説

Q0028 正答：A. 債券価格と市場金利

解説：中心となる論点は債券価格と市場金利である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0029

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント9：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

債券価格と市場金利は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0029 正答：×

解説：誤り。債券価格と市場金利は一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0030

金融資産運用

タグ：債券価格と市場金利

用語：債券価格と市場金利の確認ポイント10：一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

債券価格と市場金利と他の類似概念を区別する際は、「一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0030 正答：○

解説：正しい。債券価格と市場金利の定義は一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係であり、類似概念との区別に使える。

Q0031

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント1：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

次の説明に最も合う用語はどれか。債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

- A. デュレーション
- B. PBR
- C. 最終利回り
- D. 為替変動リスク

答え・解説

Q0031 正答：C. 最終利回り

解説：最終利回りは、債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0032

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント2：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

最終利回りの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- B. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- C. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- D. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

答え・解説

Q0032 正答：D. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

解説：最終利回りの要点は「債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0033

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント3：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「最終利回り」である。

- A. 最終利回り：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- B. デュレーション：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- C. PBR：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- D. 為替変動リスク：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

答え・解説

Q0033 正答：A. 最終利回り：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

解説：正しい組合せは「最終利回り：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0034

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント4：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

「最終利回り」は、債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：○

解説：正しい。最終利回りは債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0035

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント5：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

組織が「債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. デュレーション
- B. PBR
- C. 最終利回り
- D. 為替変動リスク

答え・解説

Q0035 正答：C. 最終利回り

解説：この目的に対応するのは最終利回りである。債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回りという機能・考え方を持つためである。

Q0036

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント6：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

「最終利回り」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- B. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- C. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- D. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

答え・解説

Q0036 正答：D. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

解説：最終利回りは債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0037

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント7：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

「最終利回り」は、債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0037 正答：×

解説：誤り。記述はデュレーションの説明である。最終利回りは債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り。

Q0038

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント8：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

次の状況で中心となる論点はどれか。「債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り」ことが求められている。

- A. PBR
- B. 最終利回り
- C. 為替変動リスク
- D. デュレーション

答え・解説

Q0038 正答：B. 最終利回り

解説：中心となる論点は最終利回りである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0039

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント9：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

最終利回りを選定するときは、「債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0039 正答：○

解説：正しい。最終利回りの選定・運用では、債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回りという目的との適合を確認する。

Q0040

金融資産運用

タグ：最終利回り

用語：最終利回りの確認ポイント10：債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り

最終利回りは、債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回りという説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0040 正答：×

解説：誤り。最終利回りはまさに債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回りという意味を持つ。

Q0041

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント1：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

- A. PER
- B. ROE
- C. 先物取引
- D. デュレーション

答え・解説

Q0041 正答：D. デュレーション

解説：デュレーションは、債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0042

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント2：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

デュレーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

答え・解説

Q0042 正答：A. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

解説：デュレーションの要点は「債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0043

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント3：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「デュレーション」である。

- A. PER：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- B. デュレーション：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- C. ROE：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- D. 先物取引：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

答え・解説

Q0043 正答：B. デュレーション：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

解説：正しい組合せは「デュレーション：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0044

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント4：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

「デュレーション」は、債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0044 正答：○

解説：正しい。デュレーションは債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0045

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント5：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

組織が「債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. PER
- B. ROE
- C. 先物取引
- D. デュレーション

答え・解説

Q0045 正答：D. デュレーション

解説：この目的に対応するのはデュレーションである。債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0046

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント6：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

「デュレーション」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- B. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- C. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- D. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0046 正答：A. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

解説：デュレーションは債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0047

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント7：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

「デュレーション」は、株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0047 正答：×

解説：誤り。記述はPERの説明である。デュレーションは債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標。

Q0048

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント8：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標」ことが求められている。

- A. ROE
- B. 先物取引
- C. デュレーション
- D. PER

答え・解説

Q0048 正答：C. デュレーション

解説：中心となる論点はデュレーションである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0049

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント9：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

デュレーションは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0049 正答：×

解説：誤り。デュレーションは債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0050

金融資産運用

タグ：デュレーション

用語：デュレーションの確認ポイント10：債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

デュレーションと他の類似概念を区別する際は、「債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0050 正答：○

解説：正しい。デュレーションの定義は債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標であり、類似概念との区別に使える。

Q0051

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント1：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

- A. PER
- B. PBR
- C. 投資信託
- D. 期待収益率

答え・解説

Q0051 正答：A. PER

解説：PERは、株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0052

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント2：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

PERの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- D. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

答え・解説

Q0052 正答：B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

解説：PERの要点は「株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0053

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント3：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「PER」である。

- A. PBR：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- B. 投資信託：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. PER：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- D. 期待収益率：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0053 正答：C. PER：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

解説：正しい組合せは「PER：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0054

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント4：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

「PER」は、株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0054 正答：○

解説：正しい。PERは株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0055

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント5：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

組織が「株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. PER
- B. PBR
- C. 投資信託
- D. 期待収益率

答え・解説

Q0055 正答：A. PER

解説：この目的に対応するのはPERである。株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0056

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント6：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

「PER」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- C. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- D. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0056 正答：B. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

解説：PERは株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0057

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント7：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

「PER」は、株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0057 正答：×

解説：誤り。記述はPBRの説明である。PERは株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標。

Q0058

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント8：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標」ことが求められている。

A. 投資信託

B. 期待収益率

C. PBR

D. PER

答え・解説

Q0058 正答：D. PER

解説：中心となる論点はPERである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0059

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント9：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

PERを選定するときは、「株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0059 正答：○

解説：正しい。PERの選定・運用では、株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標という目的との適合を確認する。

Q0060

金融資産運用

タグ：PER

用語：PERの確認ポイント10：株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

PERは、株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標という説明とは無関係である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0060 正答：×

解説：誤り。PERはまさに株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標という意味を持つ。

Q0061

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント1：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

- A. ROE
- B. PBR
- C. ETF
- D. 相関係数

答え・解説

Q0061 正答：B. PBR

解説：PBRは、株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0062

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント2：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

PBRの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- D. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

答え・解説

Q0062 正答：C. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

解説：PBRの要点は「株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0063

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント3：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「PBR」である。

- A. ROE：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- B. ETF：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- C. 相関係数：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- D. PBR：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0063 正答：D. PBR：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

解説：正しい組合せは「PBR：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0064

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント4：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

「PBR」は、株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0064 正答：○

解説：正しい。PBRは株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0065

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント5：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

組織が「株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ROE
- B. PBR
- C. ETF
- D. 相関係数

答え・解説

Q0065 正答：B. PBR

解説：この目的に対応するのはPBRである。株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0066

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント6：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

「PBR」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

答え・解説

Q0066 正答：C. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

解説：PBRは株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0067

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント7：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

「PBR」は、自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0067 正答：×

解説：誤り。記述はROEの説明である。PBRは株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標。

Q0068

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント8：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標」ことが求められている。

A. PBR

B. ETF

C. 相関係数

D. ROE

答え・解説

Q0068 正答：A. PBR

解説：中心となる論点はPBRである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0069

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント9：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

PBRは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0069 正答：×

解説：誤り。PBRは株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0070

金融資産運用

タグ：PBR

用語：PBRの確認ポイント10：株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

PBRと他の類似概念を区別する際は、「株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0070 正答：○

解説：正しい。PBRの定義は株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標であり、類似概念との区別に使える。

Q0071

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント1：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

- A. 投資信託
- B. 為替変動リスク
- C. ROE
- D. 分散投資

答え・解説

Q0071 正答：C. ROE

解説：ROEは、自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0072

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント2：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

ROEの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- B. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- C. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

答え・解説

Q0072 正答：D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

解説：ROEの要点は「自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0073

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント3：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ROE」である。

- A. ROE：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- B. 投資信託：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- C. 為替変動リスク：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標
- D. 分散投資：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

答え・解説

Q0073 正答：A. ROE：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

解説：正しい組合せは「ROE：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0074

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント4：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

「ROE」は、自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0074 正答：○

解説：正しい。ROEは自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0075

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント5：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

組織が「自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 投資信託
- B. 為替変動リスク
- C. ROE
- D. 分散投資

答え・解説

Q0075 正答：C. ROE

解説：この目的に対応するのはROEである。自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0076

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント6：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

「ROE」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- B. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- C. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

答え・解説

Q0076 正答：D. 自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

解説：ROEは自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0077

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント7：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

「ROE」は、多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0077 正答：×

解説：誤り。記述は投資信託の説明である。ROEは自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標。

Q0078

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント8：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標」ことが求められている。

A. 為替変動リスク

B. ROE

C. 分散投資

D. 投資信託

答え・解説

Q0078 正答：B. ROE

解説：中心となる論点はROEである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0079

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント9：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

ROEを選定するときは、「自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0079 正答：○

解説：正しい。ROEの選定・運用では、自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標という目的との適合を確認する。

Q0080

金融資産運用

タグ：ROE

用語：ROEの確認ポイント10：自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標

ROEは、自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標という説明とは無関係である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0080 正答：×

解説：誤り。ROEはまさに自己資本に対する当期純利益の割合で収益性を示す指標という意味を持つ。

Q0081

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント1：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

- A. ETF
- B. 先物取引
- C. GDP
- D. 投資信託

答え・解説

Q0081 正答：D. 投資信託

解説：投資信託は、多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0082

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント2：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

投資信託の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- D. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

答え・解説

Q0082 正答：A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

解説：投資信託の要点は「多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0083

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント3：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「投資信託」である。

- A. ETF：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- B. 投資信託：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- C. 先物取引：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- D. GDP：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

答え・解説

Q0083 正答：B. 投資信託：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

解説：正しい組合せは「投資信託：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0084

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント4：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

「投資信託」は、多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0084 正答：○

解説：正しい。投資信託は多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0085

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント5：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

組織が「多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ETF
- B. 先物取引
- C. GDP
- D. 投資信託

答え・解説

Q0085 正答：D. 投資信託

解説：この目的に対応するのは投資信託である。多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0086

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント6：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

「投資信託」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み
- B. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- C. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- D. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

答え・解説

Q0086 正答：A. 多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

解説：投資信託は多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0087

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント7：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

「投資信託」は、証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0087 正答：×

解説：誤り。記述はETFの説明である。投資信託は多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み。

Q0088

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント8：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み」ことが求められている。

- A. 先物取引
- B. GDP
- C. 投資信託
- D. ETF

答え・解説

Q0088 正答：C. 投資信託

解説：中心となる論点は投資信託である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0089

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント9：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

投資信託は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0089 正答：×

解説：誤り。投資信託は多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組みという概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0090

金融資産運用

タグ：投資信託

用語：投資信託の確認ポイント10：多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み

投資信託と他の類似概念を区別する際は、「多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組み」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0090 正答：○

解説：正しい。投資信託の定義は多数の投資家から集めた資金を専門家が分散運用する仕組みであり、類似概念との区別に使える。

Q0091

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント1：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

次の説明に最も合う用語はどれか。証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

- A. ETF
- B. 為替変動リスク
- C. 期待収益率
- D. 消費者物価指数

答え・解説

Q0091 正答：A. ETF

解説：ETFは、証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0092

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント2：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

ETFの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- D. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数

答え・解説

Q0092 正答：B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

解説：ETFの要点は「証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0093

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント3：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ETF」である。

- A. 為替変動リスク：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- B. 期待収益率：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. ETF：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- D. 消費者物価指数：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

答え・解説

Q0093 正答：C. ETF：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

解説：正しい組合せは「ETF：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0094

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント4：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

「ETF」は、証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0094 正答：○

解説：正しい。ETFは証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。実務では
対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0095

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント5：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

組織が「証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ETF
- B. 為替変動リスク
- C. 期待収益率
- D. 消費者物価指数

答え・解説

Q0095 正答：A. ETF

解説：この目的に対応するのはETFである。証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託という機能・考え方を持つためである。

Q0096

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント6：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

「ETF」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託
- C. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- D. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

答え・解説

Q0096 正答：B. 証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

解説：ETFは証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0097

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント7：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

「ETF」は、外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0097 正答：×

解説：誤り。記述は為替変動リスクの説明である。ETFは証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託。

Q0098

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント8：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

次の状況で中心となる論点はどれか。「証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託」ことが求められている。

- A. 期待収益率
- B. 消費者物価指数
- C. 為替変動リスク
- D. ETF

答え・解説

Q0098 正答：D. ETF

解説：中心となる論点はETFである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0099

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント9：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

ETFを選定するときは、「証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0099 正答：○

解説：正しい。ETFの選定・運用では、証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託という目的との適合を確認する。

Q0100

金融資産運用

タグ：ETF

用語：ETFの確認ポイント10：証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託

ETFは、証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0100 正答：×

解説：誤り。ETFはまさに証券取引所に上場し市場価格で売買できる投資信託という意味を持つ。

Q0101

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント1：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

次の説明に最も合う用語はどれか。外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

- A. 先物取引
- B. 為替変動リスク
- C. 相関係数
- D. 債券価格と市場金利

答え・解説

Q0101 正答：B. 為替変動リスク

解説：為替変動リスクは、外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0102

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント2：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

為替変動リスクの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- D. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係

答え・解説

Q0102 正答：C. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

解説：為替変動リスクの要点は「外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0103

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント3：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「為替変動リスク」である。

- A. 先物取引：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- B. 相関係数：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- C. 債券価格と市場金利：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- D. 為替変動リスク：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

答え・解説

Q0103 正答：D. 為替変動リスク：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

解説：正しい組合せは「為替変動リスク：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0104

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント4：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

「為替変動リスク」は、外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0104 正答：○

解説：正しい。為替変動リスクは外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0105

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント5：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

組織が「外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 先物取引
- B. 為替変動リスク
- C. 相関係数
- D. 債券価格と市場金利

答え・解説

Q0105 正答：B. 為替変動リスク

解説：この目的に対応するのは為替変動リスクである。外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスクという機能・考え方を持つためである。

Q0106

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント6：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

「為替変動リスク」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク
- D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

答え・解説

Q0106 正答：C. 外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

解説：為替変動リスクは外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0107

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント7：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

「為替変動リスク」は、将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0107 正答：×

解説：誤り。記述は先物取引の説明である。為替変動リスクは外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク。

Q0108

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント8：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

次の状況で中心となる論点はどれか。「外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク」ことが求められている。

A. 為替変動リスク

B. 相関係数

C. 債券価格と市場金利

D. 先物取引

答え・解説

Q0108 正答：A. 為替変動リスク

解説：中心となる論点は為替変動リスクである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0109

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント9：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

為替変動リスクは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

○

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0109 正答：×

解説：誤り。為替変動リスクは外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスクという概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0110

金融資産運用

タグ：為替変動リスク

用語：為替変動リスクの確認ポイント10：外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク

為替変動リスクと他の類似概念を区別する際は、「外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスク」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0110 正答：○

解説：正しい。為替変動リスクの定義は外貨建資産の円換算価値が為替相場の変動で変わるリスクであり、類似概念との区別に使える。

Q0111

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント1：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

次の説明に最も合う用語はどれか。将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

- A. 期待収益率
- B. 分散投資
- C. 先物取引
- D. 最終利回り

答え・解説

Q0111 正答：C. 先物取引

解説：先物取引は、将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0112

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント2：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

先物取引の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- B. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- C. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

答え・解説

Q0112 正答：D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

解説：先物取引の要点は「将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0113

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント3：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「先物取引」である。

- A. 先物取引：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- B. 期待収益率：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- C. 分散投資：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約
- D. 最終利回り：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

答え・解説

Q0113 正答：A. 先物取引：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

解説：正しい組合せは「先物取引：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0114

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント4：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

「先物取引」は、将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0114 正答：○

解説：正しい。先物取引は将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0115

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント5：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

組織が「将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 期待収益率
- B. 分散投資
- C. 先物取引
- D. 最終利回り

答え・解説

Q0115 正答：C. 先物取引

解説：この目的に対応するのは先物取引である。将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約という機能・考え方を持つためである。

Q0116

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント6：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

「先物取引」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債券を償還まで保有した場合の利息と償還差損益を考慮した利回り
- B. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- C. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

答え・解説

Q0116 正答：D. 将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

解説：先物取引は将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0117

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント7：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

「先物取引」は、各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0117 正答：×

解説：誤り。記述は期待収益率の説明である。先物取引は将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約。

Q0118

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント8：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約」ことが求められている。

A. 分散投資

B. 先物取引

C. 最終利回り

D. 期待収益率

答え・解説

Q0118 正答：B. 先物取引

解説：中心となる論点は先物取引である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0119

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント9：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

先物取引を選定するときは、「将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0119 正答：○

解説：正しい。先物取引の選定・運用では、将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約という目的との適合を確認する。

Q0120

金融資産運用

タグ：先物取引

用語：先物取引の確認ポイント10：将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約

先物取引は、将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約という説明とは無関係である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0120 正答：×

解説：誤り。先物取引はまさに将来の一定時点にあらかじめ定めた条件で売買する契約という意味を持つ。

Q0121

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント1：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

次の説明に最も合う用語はどれか。各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

- A. 相関係数
- B. GDP
- C. デュレーション
- D. 期待収益率

答え・解説

Q0121 正答：D. 期待収益率

解説：期待収益率は、各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0122

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント2：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

期待収益率の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- D. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標

答え・解説

Q0122 正答：A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

解説：期待収益率の要点は「各状態の収益率を発生確率で加重平均した値」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0123

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント3：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「期待収益率」である。

- A. 相関係数：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- B. 期待収益率：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- C. GDP：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- D. デュレーション：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

答え・解説

Q0123 正答：B. 期待収益率：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

解説：正しい組合せは「期待収益率：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0124

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント4：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

「期待収益率」は、各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0124 正答：○

解説：正しい。期待収益率は各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0125

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント5：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

組織が「各状態の収益率を発生確率で加重平均した値」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 相関係数
- B. GDP
- C. デュレーション
- D. 期待収益率

答え・解説

Q0125 正答：D. 期待収益率

解説：この目的に対応するのは期待収益率である。各状態の収益率を発生確率で加重平均した値という機能・考え方を持つためである。

Q0126

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント6：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

「期待収益率」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値
- B. 債券の平均回収期間と金利変動に対する価格感応度を表す指標
- C. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- D. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

答え・解説

Q0126 正答：A. 各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

解説：期待収益率は各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0127

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント7：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

「期待収益率」は、二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0127 正答：×

解説：誤り。記述は相関係数の説明である。期待収益率は各状態の収益率を発生確率で加重平均した値。

Q0128

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント8：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

次の状況で中心となる論点はどれか。「各状態の収益率を発生確率で加重平均した値」ことが求められている。

- A. GDP
- B. デュレーション
- C. 期待収益率
- D. 相関係数

答え・解説

Q0128 正答：C. 期待収益率

解説：中心となる論点は期待収益率である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0129

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント9：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

期待収益率は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0129 正答：×

解説：誤り。期待収益率は各状態の収益率を発生確率で加重平均した値という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0130

金融資産運用

タグ：期待収益率

用語：期待収益率の確認ポイント10：各状態の収益率を発生確率で加重平均した値

期待収益率と他の類似概念を区別する際は、「各状態の収益率を発生確率で加重平均した値」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0130 正答：○

解説：正しい。期待収益率の定義は各状態の収益率を発生確率で加重平均した値であり、類似概念との区別に使える。

Q0131

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント1：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

- A. 相関係数
- B. 分散投資
- C. 消費者物価指数
- D. PER

答え・解説

Q0131 正答：A. 相関係数

解説：相関係数は、二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0132

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント2：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

相関係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- D. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0132 正答：B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

解説：相関係数の要点は「二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0133

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント3：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「相関係数」である。

- A. 分散投資：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- B. 消費者物価指数：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 相関係数：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- D. PER：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

答え・解説

Q0133 正答：C. 相関係数：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

解説：正しい組合せは「相関係数：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0134

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント4：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

「相関係数」は、二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0134 正答：○

解説：正しい。相関係数は二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0135

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント5：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

組織が「二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 相関係数
- B. 分散投資
- C. 消費者物価指数
- D. PER

答え・解説

Q0135 正答：A. 相関係数

解説：この目的に対応するのは相関係数である。二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0136

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント6：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

「相関係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 株価を一株当たり利益で割り利益に対する株価水準を示す指標
- B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標
- C. 家計が購入する財・サービスの価格変動を示す指数
- D. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

答え・解説

Q0136 正答：B. 二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

解説：相関係数は二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0137

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント7：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

「相関係数」は、値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0137 正答：×

解説：誤り。記述は分散投資の説明である。相関係数は二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標。

Q0138

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント8：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標」ことが求められている。

- A. 消費者物価指数
- B. PER
- C. 分散投資
- D. 相関係数

答え・解説

Q0138 正答：D. 相関係数

解説：中心となる論点は相関係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0139

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント9：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

相関係数を選定するときは、「二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0139 正答：○

解説：正しい。相関係数の選定・運用では、二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標という目的との適合を確認する。

Q0140

金融資産運用

タグ：相関係数

用語：相関係数の確認ポイント10：二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標

相関係数は、二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0140 正答：×

解説：誤り。相関係数はまさに二つの資産収益率が同じ方向へ動く程度を示す指標という意味を持つ。

Q0141

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント1：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

次の説明に最も合う用語はどれか。値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

- A. GDP
- B. 分散投資
- C. 債券価格と市場金利
- D. PBR

答え・解説

Q0141 正答：B. 分散投資

解説：分散投資は、値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0142

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント2：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

分散投資の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計
- B. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- C. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- D. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標

答え・解説

Q0142 正答：C. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

解説：分散投資の要点は「値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0143

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント3：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「分散投資」である。

- A. GDP：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- B. 債券価格と市場金利：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- C. PBR：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- D. 分散投資：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

答え・解説

Q0143 正答：D. 分散投資：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

解説：正しい組合せは「分散投資：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0144

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント4：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

「分散投資」は、値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0144 正答：○

解説：正しい。分散投資は値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0145

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント5：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

組織が「値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. GDP
- B. 分散投資
- C. 債券価格と市場金利
- D. PBR

答え・解説

Q0145 正答：B. 分散投資

解説：この目的に対応するのは分散投資である。値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法という機能・考え方を持つためである。

Q0146

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント6：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

「分散投資」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 株価を一株当たり純資産で割り純資産に対する株価水準を示す指標
- B. 一般に市場金利が上昇すると既発債の価格は下落する関係
- C. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法
- D. 一定期間に国内で生み出された付加価値の合計

答え・解説

Q0146 正答：C. 値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

解説：分散投資は値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0147

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント7：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

「分散投資」は、一定期間に国内で生み出された付加価値の合計。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0147 正答：×

解説：誤り。記述はGDPの説明である。分散投資は値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法。

Q0148

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント8：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

次の状況で中心となる論点はどれか。「値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法」ことが求められている。

- A. 分散投資
- B. 債券価格と市場金利
- C. PBR
- D. GDP

答え・解説

Q0148 正答：A. 分散投資

解説：中心となる論点は分散投資である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0149

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント9：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

分散投資は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0149 正答：×

解説：誤り。分散投資は値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0150

金融資産運用

タグ：分散投資

用語：分散投資の確認ポイント10：値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法

分散投資と他の類似概念を区別する際は、「値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0150 正答：○

解説：正しい。分散投資の定義は値動きの異なる資産へ資金を分けて固有リスクを抑える方法であり、類似概念との区別に使える。